

歩けない 食べられない 楽しくない  
手術と薬「リスクと副作用、こんなに」  
そんな人生にならないために  
銀行が売る「この保険商品」買ってはいけない

# 週刊現代

独占! 無念の死 最後は寝たきりに  
巨泉さん家族の怒り「あの薬に殺された」

手術と薬のことなら  
週刊現代  
夏の特大号  
第3弾

特別定価450円  
8月6日号  
Weekly Gendai  
2016 August

医者と病院に負けるな  
薬をやめてよかつた、  
手術を断つてよかつた

がん・糖尿病ほか生活習慣病・痛風・リウマチ・バセドウ病ほか  
山崎拓がいまこそ明かす  
「新・国民病」痛風の薬  
「小泉純一郎にあつて、加藤紘になかったもの」  
「バセドウ病」ほか甲状腺の病気  
妻がなつたらこの薬と手術が危ない  
糖尿病のアクトスうつ病のパキシル認知症のアリセプト心臓カテーテル手術脳動脈瘤手術高齢者の肺がん腹腔鏡手術ほか  
患者にすすめても、  
医師の匿名座談会  
自分の家族には絶対やらない「薬と手術」

「プライベートバンカー」  
その知られざる正体  
特別レポート

No.2857  
32

週刊現代

八月六日号

第五十八巻第二十七号  
(毎週二回土曜日発行) 平成二十八年七月二十五日発行

発行人 鈴木章一 編集人 山中武史 発行所 株式会社 講談社

郵便番号 112-8110  
東京都文京区音羽二丁目一  
取扱部 (03) 5395-5843  
四三四五五八一  
定 特別 四五〇円  
時 次号 発売まで

本体四七円

32

No.2857

32

BotaRich  
ENZYME

# SUPER FOODS SUPER FRUITS

ハワイで大人気、新ダイエットブランド BotaRichが日本上陸！  
全国のドラッグストア・バラエティショップで絶賛発売中！

元日テレ「タカシジョー」のトップアイドル  
高崎聖子改め高橋じょう子  
特大号 W袋32ページ

「お騒がせ事件」の主役たちはいま  
上半期  
真夏の  
アイドル  
NHK朝ドラ「風のハルカ」ヒロインがついに！  
村川絵梨「初裸身」をスクープ掲載  
河合奈保子の「美バーディ」を見よ

「ハワイで大人気、新ダイエットブランド BotaRichが日本上陸！  
全国のドラッグストア・バラエティショップで絶賛発売中！」

**SUPER FOODS ENZYME SERIES**  
生酵素×スーパーフード  
スムージー

生酵素×スーパーフード  
スムージータブレット  
72粒 ￥1,400 (税抜)

生酵素×スーパーフード  
スムージー  
200g ￥1,980 (税抜)

生酵素×スーパーフード  
濃縮ドリンク  
720mL ￥3,980 (税抜)

**SUPER FRUITS ENZYME D**  
生酵素×スーパーフルーツ  
スムージー

生酵素×スーパーフルーツ  
スムージータブレット  
72粒 ￥1,400 (税抜)

生酵素×スーパーフルーツ  
スムージー  
200g ￥1,980 (税抜)

生酵素×スーパーフルーツ  
濃縮ドリンク  
720mL ￥3,980 (税抜)

**SUPER FRUITS ENZYME SERIES**  
生酵素×スーパーフルーツ  
タブレット

お問い合わせ 売者: ジェイピースラボ株式会社 URL: http://botarich.jp 商品に関するお問い合わせ: 03-6804-5399 (受付時間: 平日午前10時~午後5時まで)

雑誌 20641-8/6 4910206410861  
00417

©講談社 2016  
凸版印刷 Printed in Japan

は、がんセンターで「今  
のところがんの転移はな  
い」と言われていたのに、  
モルヒネを投与されてか  
ら、日に日に弱っていく  
巨泉さんを見て不安を募  
らせていた。

見かねた寿々子さんと  
哲也さんはがんセンター  
の片井均医師と、長年に  
わたり巨泉さんを診てき  
た若山芳彦医師に連絡。

二人の先生は異口同音に  
「痛み止め（モルヒネ）  
の使用法に問題がありそ  
うだ」と、再入院をすす  
めた。

だがこの在宅医は、「薬  
を中止しよう」とは言わ  
なかつたという。

毎日自宅には来るので  
すが何もしない。こんな  
にフラフラになつて意識  
が混濁しているので、普  
通の医者なら『おかしい』  
と思うはずですが  
……。付き添いの看護師  
が脈を測つたりはしてい  
ましたが、この医師が問  
診することは、ほとんど  
ありませんでした。それ

でいて『早いなあ、（寿  
命が）1～2週間になつ  
ちゃつたかなあ』と言う  
のです」（哲也さん）

不信感を募らせた哲也  
さんが、知人に調べても  
らつたところ、この医者  
は元々「皮膚科の専門医」

は、がんセンターで「今  
のところがんの転移はな  
い」と言われていたのに、  
モルヒネを投与されてか  
ら、日に日に弱っていく  
巨泉さんを見て不安を募  
らせていた。

だつたことが判明したと  
いう。それが現在は緩和  
ケアの病院で院長を務め  
ていたのである。

この時点では寿々子さん  
と哲也さんは、「この在  
宅医に診てもらうのをや  
めよう」と決心していた。

週刊現代の薬に関する  
記事を読んで、あの時、  
脳梗塞になつたことの一  
因に血压を下げるため、  
デイスを処方されるよう  
になりました。しかし、  
飲み始めて2カ月あまり

だつたことが判明したと  
読めば理解できた筈なの  
だが、何故だか大量に渡  
されたのである。何しろ  
九死に一生を得たのだ  
が、82歳の老人には大打  
撃であった。結局、緊急  
入院になつたために、ノ  
ーチヨイスで救命処置を  
受けた事になつてしまつ  
たのである。

結局巨泉さんは、集中  
治療室を出ることなく、  
息を引き取つた。コラム  
の最終回が掲載された直  
後、この在宅ケアの医師  
から寿々子さんと哲也さ  
んに連絡があつたとい  
う。

翌日、別の病院に入院す  
ることを伝えて『そう  
ですか』としか言わない。  
もしあのまま薬を使い  
続けていたら、間違いな  
く死んでいたと思います。  
処方する前から量がお  
かしいとは思わなかつた  
か？ 素人では分かりま  
せんよ。自宅には使わな  
かった30日分以上の薬が  
残つています』

巨泉さんのコラムの最  
終回には、こう記されて  
いる。

（翌11日の朝、若山先生  
が同乗してくれた弟の車  
で家を出たのだが、突然  
ボクの意識は飛んだ。そ  
のとき若山先生が的確な  
指示を出してくれて、途  
中の病院に緊急入院の形  
で担ぎ込まれたという。

たつた5日間で意識も薄  
れ、歩行もままならぬ体  
になつたのだから恐ろし  
い事だ。

「医者からは『申し訳な  
かつた。てっきり（巨泉  
さんは）緩和ケアをする  
ものだと勘違いしてい  
た』と電話があつた。  
兄と私たち家族が望  
んでいたのは、最後に好き  
なことをして逝くことで  
した。でも結果として、  
兄は、最期においしい物  
を食べることも、ワイン  
を飲むことも、ゴルフを  
遊ぶことも、めまいやふら  
つきがなくなつた。喉が渴  
なつた気がします」（大

んセンターからの資料を  
読めば理解できた筈なの  
だが、何故だか大量に渡  
されたのである。何しろ  
九死に一生を得たのだ  
が、82歳の老人には大打  
撃であった。結局、緊急  
入院になつたために、ノ  
ーチヨイスで救命処置を  
受けた事になつてしまつ  
たのである。

巨泉さんはかつて最初  
の胃がんを患つた時に  
「がんを治すのは医者で  
なく、自分自身の力で  
す」と語つていた。

その言葉通り、4度の  
がんを乗り越えてきた。  
巨泉さんはかつて最初  
の胃がんを患つた時に  
「がんを治すのは医者で  
なく、自分自身の力で  
す」と語つていた。

巨泉さんはかつて最初  
の胃がんを患つた時に  
「がんを治すのは医者で  
なく、自分自身の力で  
す」と語つていた。



'05年胃がんの手術を受けた時の写真。妻の  
寿々子さんは最期まで献身的な介護を続けた

# 手術と薬「リスクと副作用、 こんなに」前編

## 一度やつたら、もう普通の生活に戻れない! 歩けない 食べられない 楽しくない

### 60すぎたら、医者にすすめられても拒否しない

#### 糖尿病のジヤヌビアやアマリールでうつ病に たきりの危機 コレスステロールのクレストールの後遺症 手術で勃起不全 白内障手術で失明 膝の人工関節で車椅子にほか 一度やつたら、もう普通の生活に戻れない!

### 降圧剤を飲んで脳梗塞に

で脳梗塞を起こし、入院

しました。幸い大事には  
いたらず、3週間ほどで  
退院できました。

と相談して降圧剤を飲む  
のをやめ、バイアスピリ  
ンなど血液をサラサラに  
する薬だけを飲んでいま  
す。毎日飲む薬が減つて、  
心なしか、前より健康に  
なつた気がします」（大

山明人さん／72歳・仮名）

いま本誌編集部にはこ  
のような読者からの便り  
が続々と届いている。長  
年飲み続けていた薬をや  
めたら、めまいやふら  
つきがなくなつた。喉が渴

「2年ほど前に血压が高  
いので、降圧剤のミカル  
デイスを処方されるよう  
になりました。しかし、  
飲み始めて2カ月あまり

週刊現代の薬に関する  
記事を読んで、あの時、  
脳梗塞になつたことの一  
因に血压を下げるため、  
デイスを処方されるよう  
になりました。しかし、  
飲み始めて2カ月あまり

だつたことが判明したと  
読めば理解できた筈なの  
だが、何故だか大量に渡  
されたのである。何しろ  
九死に一生を得たのだ  
が、82歳の老人には大打  
撃であった。結局、緊急  
入院になつたために、ノ  
ーチヨイスで救命処置を  
受けた事になつてしまつ  
たのである。

巨泉さんはかつて最初  
の胃がんを患つた時に  
「がんを治すのは医者で  
なく、自分自身の力で  
す」と語つていた。

巨泉さんはかつて最初  
の胃がんを患つた時に  
「がんを治すのは医者で  
なく、自分自身の力で  
す」と語つていた。

## リスクと副作用、こんなに②

No.	症状	理由
高血圧	11 降圧剤でめまい	降圧剤は副作用として、めまいを引き起こすことがある。高齢の患者が服用すると、動悸やめまいの結果、転倒したり、階段を踏み外したりということがある。なかには、それがきっかけで外出を控えるようになるケースもある
	12 ARBとカリウム保持性利尿剤の併用で心臓に負担	併用すると、体内にカリウムが蓄積されて「高カリウム血症」になり、不整脈が引き起こされる可能性が。「初期症状としては、吐き気や、口のまわりや手足のしびれなどがある」(医薬情報研究所エス・アイ・シー・堀美智子氏)
	13 スタチン (クレストール、リピトールなど) で筋肉が溶ける	横紋筋融解症と呼ばれる、筋肉が溶ける副作用があり、厚生労働省も注意喚起を行っている。筋肉痛、手足のしびれなどの症状が出る。「副作用が重篤な場合、腎不全を発症し、死に至る可能性もあります」(前出の佐藤氏)
	14 スタチンで糖尿病に	スタチンは糖尿病の発症リスクも上がる。フィンランドの研究によれば、服用者はそうでないグループより46%発症率が高かった。「服用により糖質依存の体となり、糖尿病に発展する」(東海大学名誉教授・大槻陽一氏)
	15 スタチンで感染症に	スタチンは免疫を抑制する性質を持つため、服用すると、感染症にかかりやすくなり、症状が重篤となる可能性さえもある。「さらに、発がん性があり、糖尿病になるリスクも高くなるので、注意が必要です」(前出の浜氏)
	16 スタチンで 床ずれや腎不全に	人間の皮膚や筋肉をつくるのに必要な善玉コレステロールを減少させるスタチン。その結果、高齢者の場合、皮膚障害の床ずれが治りにくくなることすらある。「薬が体质に合わないと、腎不全になる可能性もあります」(内科医)
	17 抗血小板薬 (バイアスピリン、プラビックスなど) で脳出血	血液をサラサラにする薬。「心筋梗塞のステント治療の後に、抗血小板薬を飲むと再発が防げることがわかっている。しかし、脳梗塞の予防効果はきちんと確認されていない。脳出血が起こる副作用もある」(前出の岡田氏)
	18 抗血小板薬の 併用で眼底出血	抗血小板薬を併用すると、過剰に効きすぎることがあり、眼底出血など深刻な症状も起きやすくなる。「手術中、出血が止まりにくくなってしまうこともあります。場合によっては命にかかるので注意すべき」(前出の川井氏)
	19 抗凝固薬 (ワーファリン、イグザレルトなど) で消化管出血	血液を固まりにくくする薬だが、胃や腸から出血する、消化管出血を発症する可能性がある。吐血や下血、血便といった症状が現れ、貧血になることもある。「使用法のガイドラインはあるが、使い方が難しい」(前出の岡田氏)
	20 マイスリーで 前向性健忘に	マイスリーの服用で、前日の記憶すらなくしてしまう「前向性健忘」を発症する可能性がある。「酒に酔って前日のことを覚えていないのと同じような状態。人を傷つけるようなことがあってもまったく覚えていない」(前出の浜氏)
高脂血症		
脳梗塞		
不眠症		

名譽教授・岡田正彦氏）  
また、急激な血糖値の低下はホルモンの分泌にも影響し、うつ症状やイライラを引き起こすこともあるので注意が必要だ。

## リスクと副作用、こんなに①

No.	症状	理由
1	<b>チアゾリジン (アクトスなど)で 心不全の危険性が高まる</b>	副作用として心不全のリスクがある。「アクトスはとくに使いづらい危険な薬です。心臓に問題のある患者に使用すると、発症の可能性が高まる」(ナビタスクリニック・佐藤智彦氏) 膀胱がんのリスクがあることも疑われている
2	<b>SU剤 (アマリール、ダオニールなど) で脾臓に障害が</b>	SU剤は脾臓からのインスリン分泌を促し、血糖値を下げる薬。「インスリンを無理矢理に分泌させるので、使い続けると、脾臓は疲弊し、インスリンを作ることができなくなる。脾臓に障害が残る恐れもあります」(医学部教授)
3	<b>SU剤でうつ傾向に</b>	SU剤を使用すると、急激に血糖値が下がるケースがある。その際、アドレナリンなどのホルモンが過剰に分泌されることで、うつ症状や精神の不安定を引き起こす可能性がある。薬を変えることで、うつが回復したケースもある
4	<b>DPP-4阻害薬 (ジャヌピア、エクアなど) とSU剤の併用で認知症に</b>	DPP-4阻害薬は色々な薬と併用されることが多いが、SU剤と一緒に使うと危険。「インスリンの分泌が過剰に増強されて低血糖の症状を起こし、認知症が進むことも」(かもめメディカルケアセンター施設長・藤井昭夫氏)
5	<b>インスリンと糖尿病薬の 併用で認知症に</b>	インスリンと糖尿病薬を併用し、血糖値を下げすぎると認知症リスクあり。「重度の低血糖状態が続くと、脳が血糖値を上げるために、アドレナリンを過度に分泌し、血管が収縮。これが認知機能を低下させることがある」(内科医)
6	<b>SGLT2阻害薬と利尿剤の 併用は危険</b>	SGLT2阻害薬は、単独でも脱水症状を引き起こすリスクがあるが「利尿剤と併用すると尿が出過ぎて症状が重くなる場合がある」(東京慈恵会医大附属病院循環器内科医長・川井真氏) 過去には患者が死亡した例も確認されている
7	<b>ACE阻害薬 (コバシル、アデカットなど) で空咳、血管性浮腫の症状</b>	よく見られる顕著な副作用として、空咳が出たり、痰が絡まつたりといった症状がある。また、まぶたや唇が腫れあがる「血管性浮腫」を発症することもあり、重篤な場合には、のどや気道が腫れて呼吸困難になるケースもある
8	<b>カルシウム拮抗剤 (ノルバス、アムロジンなど) でがんの危険性が高まる</b>	カルシウム拮抗剤は、長く飲み続けると交感神経が過度に緊張し、心臓に負担がかかる。「服用をはじめて当面の副作用は少ないが、飲み続けると、がんの発症可能性も高まる」(医薬ビジランスセンター理事長・浜六郎氏)
9	<b>ARBと利尿剤の配合薬 (エカード、コディオなど) で意識障害が起こる</b>	ARBと利尿剤が配合された薬は、利尿作用が効きすぎて脱水症状になる可能性がある。また服用中に、食事をとらず水分ばかりを摂取すると、「低ナトリウム血症」という症状を起こし、意識障害などを起こすリスクもある
10	<b>ARBで脳梗塞に</b>	ARBなどの降圧剤は服用の仕方によっては血圧を下げすぎてしまうことがある。その結果、「血流が弱まり、血管が狭くなった部分よりも先に血液が流れなくなって、脳梗塞になる危険がある」(新潟大学名誉教授・岡田正彦氏)

く、筋肉痛などの症状が消失了——今まで薬のせいだとは意識していなかつたものが、薬をやめてみて初めて副作用だとわかつたというケースも多い。

これまで本誌は7回にわたって、飲み続けると危ない薬や実は危険度の高い手術について報じてきました。今回はこれまで本誌で紹介した薬と手術100例を表にまとめた。

まずは生活習慣病薬から見て行こう。糖尿病の薬はDPP-4阻害薬、SGLT-2阻害薬など種類が多い。さまざまなタイプの薬を併用する場合もあるが、血糖値を下げ過ぎることはかえって危ない。

「低血糖になりすぎると脳の機能に異常が出て、めまいや動悸などが現れることもあります。ひどい場合は命に関わることもあります」(新潟大学

## リスクと副作用、こんなに④

No.	症状	理由
うつ病、統合失調症	<b>認知症の患者に リスパダールを処方し 寝たきりに</b>	リスパダールの副作用として、強度の筋肉のこわばりを引き起こすリスクがある。「時々、誤って認知症患者に処方されることがあります、筋肉に異常が起こって歩けなくなり、寝たきりになることもあります」(前出の河野氏)
	<b>ジプレキサで 手のこわばり</b>	多量に服用すると、手の震えやこわばり、立ちくらみといった症状が出る。飲み始めはとくに注意。ひどい場合には筋肉が溶ける横紋筋融解症を引き起こすこともあります、手足にけいれんが起こったり、歩行困難となるケースもある
	<b>ジプレキサと 睡眠薬の併用で 譫妄状態に</b>	ベンゾジアゼピン系の睡眠薬（ハルシオン、レンドルミンなど）とジプレキサの併用で、意識混濁、幻覚や錯覚が現れる、譫妄状態を引き起こすことがある。ただし、ジプレキサは服用を急にやめると離脱症状が出てしまう
	<b>抗精神薬・セロクエルで 血糖値が急上昇</b>	血糖値の急上昇をもたらすリスクがある。糖尿病患者には使えない。「血糖値が500単位になると、多尿、嘔吐、腹痛といった症状を引き起こす『糖尿病性ケトアシドーシス』という非常に危険な状態になることもある」(内科医)
	<b>SNRI (サインバルタ、トレドミンなど) で血圧上昇</b>	SSRIと似た副作用があるが、独自の症状として血圧の急激な上昇や、動悸、頭痛などが見られる。脈拍の増加が見られた場合は注意が必要。ほかにも尿の出が悪くなる、肝機能障害といった副作用も報告されている
	<b>70歳以上の 人工関節手術は やめたほうがいい</b>	70歳を超える高齢者の場合、骨粗鬆症などで骨が弱くなっていることが多く、人工関節を入れても結局緩んでしまい、再手術が必要となるケースがある。「とくに女性は骨が弱くなりやすいので、手術のリスクが高い」(整形外科医)
	<b>脊椎手術で譫妄状態に</b>	脊椎手術を行った後、患者に術後譫妄が出ることがしばしばある。「精神状態が不安定になって幻覚や幻聴が現れたり、性格が攻撃的になるのです。薬で症状を抑えようとするのですが非常に難しい」(整形外科医)
	<b>変形性膝関節症の手術で 車椅子生活に</b>	膝の手術は人工関節を入れるのが主。人工関節は、金属とプラスチックで出来ているが4～5年経ったら緩み、痛みが出ることもある。「最終的には車椅子生活になってしまい人もいます」(整形外科医)
	<b>間節リウマチの手術で 静脈血栓塞栓症になる</b>	40代～50代に多いリウマチ。手術の難易度は高いと言われる。「関節リウマチの手術で人工膝関節を入れると静脈血栓塞栓症（血栓がもとで肺の血管が詰まる症状）になるリスクが高い」(医療経済ジャーナリスト・室井一辰氏)
	<b>外反母趾の手術で 後遺症を負う</b>	変形はわずかにもかかわらず、受ける必要のない外反母趾の手術をしてしまい、指が動かなくなるなどの後遺症に苦しんでいる人が多い。「炎症を起こしていても、テーピングなどで固定する保存療法で痛みはなくなります」(整形外科医)

だが、日本は国民皆保険が行き届いているので、医者も薬の費用対効果をほとんど考えずに処方している。

オルメテック、ミカルデイス、ディオバンなどが代表的な薬だ。最近ではARBと利尿剤が一つに配合されている薬もよく処方されている。

降圧剤は血圧を下げる薬なので、当然ながら使いつ過ぎると低血圧を招く。低血圧はうつ病や貧血に間違われることもある。また、高齢者の場合は横になっているときは血圧が高くとも、立ち上がるときに急に血圧が下がる起立性低血圧が多い。「3年前の話ですが、当時81歳になつた母がディオバンを飲むようになつてから、ときどきめまいがすると言つていました。ある日、夜中にトイレに起きたときに転んでしまった。結局、回復に時間がかかっているあい

## リスクと副作用、こんなに③

No.	症状	理由
不眠症 21	<b>エチゾラムやマイスリーで転倒</b>	服用した翌朝まで薬が残り、意識がはっきり覚醒しないケースがある。結果、適切な動作ができず、転倒してしまうことがある。「骨折してそのまま寝たきりになってしまった高齢者もいます」(医療ガバナンス研究所・上昌広氏)
認知症 22	<b>アリセプトで心停止の危険</b>	過剰に服用すると、稀に失神することがある。「ひどい場合には、高度徐脈から心肺停止になる患者もいるという話を聞きました。私自身も副作用で心停止寸前になった患者を診たことがある」(長尾クリニック院長の長尾和宏氏)
	<b>アリセプトで患者が暴力的になる</b>	興奮状態になって暴言を吐いたり、暴力的になる副作用もある。「適切に使えば効果的だが、一部の型の認知症にしか効かず、ほかの型の認知症に使うと、症状を悪化させることも」(名古屋フォレストクリニック院長・河野和彦氏)
	<b>メマリーは効果が小さい</b>	記憶力回復に効果があるという触れ込みで11年に認可されたが、改善率は低いと言われている。「今では製薬会社と学会は「怒りっぽくなった認知症患者の興奮を抑えるために使ってほしい」と言っている」(前出・河野氏)
	<b>SSRI (パキシル、デプロメールなど) で不安や焦燥感が強くなる</b>	幸福を感じるのに必要なセロトニンや、やる気を生むノルアドレナリンといった物質が脳内に長く留まるように働きかける薬。飲み続けると「セロトニン症候群」と呼ばれる、不安感、焦燥感が強まる副作用が出ることがある
	<b>SSRIで手足の痺れ</b>	副作用として、手足が痺れることや顔がむくむこともある。「服用後に体のむずかゆさを感じる。顔がむくんたり、体がむずむずしたりして、手足が痺れ始めました」(30代男性) 初期症状として食欲低下、下痢が見られる
	<b>SSRIは肩こりの薬・チザニジンとの併用でふらつき症状</b>	併用によって、体内で分解されにくくなったチザニジンの血中濃度が上がる。「その結果、血圧が低くなりすぎ、ふらついたり、力が入らなくなったりすることがあります」(医学部教授) 向精神薬は飲み合わせに注意
	<b>SSRIは消化管出血の危険性がある</b>	多量の服用を続けると、セロトニンの血中濃度が低下し、血小板の機能が変化する。このことによって、消化管での出血が起こることもある。服用後に口腔手術を行ったケースでも、異常な出血が認められたという報告がある
	<b>抗うつ剤は急にやめると危険</b>	急に服用をやめると、嘔吐、発汗、電気ショックのような感覚といった「離脱症状」を発症することがある。「かえって症状が悪化することがあるので、やめる際は医者とじゅうぶんに相談する必要があります」(精神科医)
	<b>リスパダールで窒息死することも</b>	非常によく処方される抗精神病薬。高齢者が、リスパダールを若年の患者と同じ量だけ服用すると、食べ物がうまく飲みこめなくなるケースがある。「その結果、食べ物を誤嚥して窒息死する可能性もあります」(前出・河野氏)

り、うつ状態が引き起これば、診断されてしまい、抗うつ剤を飲み始める。そんなケースが実際に生じているのだ。

## 外国では回収された薬もある

日本では普通に処方されているが、フランスやドイツなどの外国では「危険すぎる」として承認が取り消されている薬もある。それがチアゾリジン系の糖尿病薬（アクトス）である。この薬は心不全を発症・悪化させる可能性や、膀胱がんを発症させるという可能性が指摘されている。

海外では飲まれていなが、日本でよく飲まれている薬の代表が、降圧剤のARB（アンジオテンシンII受容体拮抗薬）。他の降圧剤に比べて高価

**外国では  
回収された  
薬もある**

## リスクと副作用、こんなに⑥

No.	症状	理由
心臓	51 心房細動の手術のカテーテルアブレーションはリスクのほうが高い	心房に向けてカテーテルを刺し、患部を焼くという方法。「アメリカでは、薬で効果が出ているならする必要がない手術とされています。実際、誤った部分をカテーテルで突き刺した事例もあり、リスクが高い」(循環器医)
	52 未破裂脳動脈瘤の予防手術で半身不隨に	「検査で夫の脳に動脈瘤が見つかり、医者は『破裂する危ないので、予防的手術で取り除きましょう』とすすめました。ところが手術の際に神経を傷つけてしまい、夫は半身不隨になってしまいました」(40代女性)
	53 胆囊炎の腹腔鏡手術で胆管炎に	「消化器科の医師が胆囊炎の患者の腹腔鏡手術をした際、誤って『総胆管』といわれる部位を傷つけてしまったケースがあります。患者はその後、1週間に一度、胆管炎による腹痛に襲われるようになりました」(消化器外科医)
	54 直腸がんの腹腔鏡手術で大出血	「直腸がんの患者の腹腔鏡手術に立ち会った時のこと。執刀に当たったのは、まだ経験の浅い医師で、手術中、前立腺を傷つけてしまった。出血が止まらなくなり、腹腔鏡のモニターはあつという間に真っ赤になりました」(看護師)
	55 腹腔鏡手術で急性腹膜炎を起こし死亡	開腹手術なら止血処理が適切にできるが、腹腔鏡だと困難。「体内に血液が漏れ出し、急性腹膜炎を起こして死に至るケースもある。個人の技量に依存する部分が大きいので実績のない医師の場合は危険」(医療コンサルタント)
	56 小さな民間病院での腹腔鏡手術は危ない	「指導医がない小さな民間病院などでは、腹腔鏡手術の機器を販売しているメーカーが主催する、短期間の手術講習や医師向けのビデオ教材だけで術法を学び、実際の手術に臨むことがあります。危険」(医療ジャーナリスト・田辺功氏)
	57 乳がん検査 マンモグラフィー検診でがんに	マンモグラフィー検診を繰り返すとそのたびに放射線に曝されるため、がんになる恐れがある。「自己検診でいたずらに不安になり、不要な検診を受け、放射線を浴びる人も少なくない」(ベルーガクリニック院長・富永祐司氏)
	58 胸部X線検査で肺がんは見つけられない	胸部X線検査はもともとは結核の検査だったが、患者が減り不要になった。「その後、業界の圧力で肺がん検診にすりかえられたが、肺がんは見つけられないということは前々から言っていた。科学的にもそれは明らか」(前出の田辺氏)
	59 脳ドックの検査のせいで脳出血	脳ドックで小さい脳動脈瘤が見つかった場合、とくに症状がないのに無駄な手術や治療を受け、健康被害を受ける場合がある。「そうした治療の後遺症として、脳梗塞や脳出血が多いことがわかっています」(前出の岡田氏)
	60 胃がん検査の二重造影法検査は放射線被曝するだけ	「胃がん検査の二重造影法検査では正直言って、ほとんど何も見えない。先輩からも『何も考えなくていいから、1秒で適当に判断すればいい』と教わった。ほとんどの人は放射線被曝するだけで何のメリットもない」(内科医)

認知症薬のアリセプトは、他に認知症を治療する薬が少ないということでもあって、高齢者に処方される機会が多い薬だ。だが、その副作用が問題になることが多い。「父(82歳)がもの忘れをするようになつてから、5年ほどアリセプトを飲み続けていました。効果のほどはわからなかつたのですが、月に一度、病院に行くと28日分出さ

恐禁抗うつ剤の恐ろしい

スやバイアスピリンが代表例だ。だが、これらの薬は「脳梗塞の再発予防に人に対する予防効果は認められない」(前出の岡田氏)。逆に血液がサラサラになりすぎると、内出血、消化管出血などの副作用も出てくるので、安易に飲み続けることは避けたい。

は、他に認知症を治療する薬が少ないということでもあって、高齢者に処方される機会が多い薬だ。だが、その副作用が問題になることが多い。「父(82歳)がもの忘れをするようになつてから、5年ほどアリセプトを飲み続けていました。効果のほどはわからなかつたのですが、月に一度、病院に行くと28日分出さ

## リスクと副作用、こんなに⑤

No.	症状	理由
関節痛	41 高齢者は変形性股関節症の手術をしても再発のリスクがある	「変形性股関節症の人工関節手術、特に高齢者の場合は、骨盤を支える筋肉や骨が弱っているので、関節だけ人工物に取り替えるても、痛みが再発したり新たな問題がでてくる可能性がある」(カイロプラクティック治療室院長)
	42 リウマチの手術後別の場所が痛み出す	「リウマチの手術後、必ず一部の患者さんは『痛みが引かない』、『思っていたのと違う』と不満を漏らす。骨を削ったことで別の部位に骨が当たるようになり、新しい痛みが出たという患者さんも少なくない」(整形外科医)
	43 肩関節周囲炎(五十肩)の手術で感染症にかかる	「手術をしても痛みがなくなるかは不明。術後のリハビリが不十分だと手術前より病状が悪化することがある。また手術後に傷口から感染することがあり、特に糖尿病の人は感染リスクが高くなる」(医療ジャーナリスト)
	44 60歳以上の椎間板ヘルニアの手術で車椅子生活になる	「椎間板ヘルニアの手術は60歳以上はできるだけしないほうがいいでしょう。もし失敗すれば、下半身に痺れが残ることもあるし、下手をすれば車椅子生活になる人もいます」(医師、医療ジャーナリスト・富家孝氏)
	45 脊柱管狭窄症(腰痛)の手術後に歩行困難になる	「腰痛の手術で腰にプレートを入れたのですが、以前よりも痛みが増して、前屈みにならないと歩くことすらできない状態になってしまいました。なんとか仕事は続けていますが、通勤がとにかく大変」(手術を受けた40代男性)
	46 白内障の手術で失明する	「著しく生活に支障が出る場合を除いて、基本的に白内障の手術は避けるべきです。人工レンズを支える水晶体の後ろの膜が破れ、眼球の中の硝子体が流れ出してしまうと、最悪、失明することもあります」(眼科医)
	47 緑内障の手術で失明する	手術によって眼圧が下がっても、視野障害が進行する患者もいる。また、緑内障の手術をしたために白内障が進行することもある。手術後、細菌感染によって眼球内が炎症を起こしてしまい、最悪の場合、失明してしまう可能性もある
	48 前立腺肥大症の手術で勃起不全に	「前立腺肥大症の手術は出血や、尿の通り道に細菌が入り、感染症を引き起こすこともある。また、前立腺は生殖器でもありますから、逆行性射精障害やEDになってしまいうリスクもあります」(楠医院院長・板倉宏尚氏)
	49 前立腺肥大症の生検で腎不全になる	「前立腺肥大症の場合、医師は前立腺がんかどうか調べるために細胞を採取する生検をすることがあります。生検は前立腺に針を刺し細胞を取るのですが、出血しやすい上、尿が出にくくなってしまう腎不全を起こすこともあります」(前出の富家氏)
	50 心筋梗塞のカテーテル手術で合併症の増加	カテーテルと呼ばれる管を心臓の冠動脈まで通して風船やステントで血管を広げる手術法がある。「時に詰まっている血管を念のため拡張するが、過剰なステント留置は死亡率や合併症のリスクが増す」(前出の室井氏)

まだ寝つきになつてしまい、昨年、肺炎でなくなりました」(白石攝子さん/59歳・仮名)  
コレステロール値を下げる薬としては、スタチン剤(クレストール、リピートールなど)がしばしば処方されている。だが、これらの薬は、副作用も多い。よく知られているのは、横紋筋融解症といふ筋肉が溶ける病気だ。多い。よく知られているのは、横紋筋融解症といふ筋肉が溶ける病気だ。これらは、医師に相談したほうに出すると腎不全になる可能性もあります」(ナビタスククリニック佐藤智彦氏)  
また、善玉コレステロールの値も下げてしまふので、ベッドにいる時間の長い高齢者の場合、床ずれを起こす可能性も指摘されている。  
「薬を飲み始めて、筋細胞のなかの成分が血中に流出する」と腎不全になる可能性があります」(ナビタスククリニック佐藤智彦氏)  
脳梗塞の再発予防によく飲まれているのは、いわゆる「血液をサラサラにする」薬。プラビック

れるので飲み続けていたのです。

薬を飲み続けていたときは自転車で30kmも離れたところに行つてしまい警察のお世話になつたところもありました。これだけ飲んでも効果がないのならと思い、薬をやめてみたところ、そのようなひどい徘徊や、妄想もなくなつてほつとしています」(田沢好子さん／52歳・仮名)

アリセプトは副作用として、患者の攻撃性が増して暴力的になるケースも報告されている。そもそも、この薬はアルツハイマー型の認知症には有効だと言われているが、前頭側頭型認知症(ピック病)などの病態には投与してはいけない。にもかかわらず、医師が誤った判断で処方するケースが散見される。

うつ病、統合失調症の薬は、一度飲み始めるとをする水晶体が濁り、視力が低下するのが白内障。80歳を超えるとほとんど人がかかるといわれます。

なかなかやめるのが難しい。急に薬をやめると、離脱症状(いわゆる禁断症状)があるからだ。

『心の風邪』をひいてしまって、SSRI(パキシル、デプロメール他)などを数種類、飲んでいました。少しよくなつたところで、何度も薬をやめようとしたが、そのたびに不安や睡眠障害に悩まされて失敗しました。

医師とよく相談して、半年かけて少量ずつ投与量を減らしたことで、なんとか薬をやめることができました』(長澤康秀さん／62歳・仮名)

次に手術のリスクを見て行こう。多くの薬はその気になって努力をすればやめることができる。だが手術の失敗は取り返しがつかない。

「5年前、72歳のときに変形性膝関節症で、人工関節を入れる手術をしたのですが、最近また痛みが激しくなってきた。医者に診せると、人工関節



## 手術で男性機能を失う

5年ほど経つと、生体と人工関節の間に緩みが生じて、痛みや痺れが再発、ひどい場合はもう一度手術を受けなければならなくなるからだ。

が緩んできているという。せつかく必死の思いで手術をしたのに、こんな簡単に元の木阿弥かと思うと哀しくなります。

痛みを少しでも和らげたい——そんな切実な思いで手術に踏み切ったのはいいが、想像していたらなかつたというケースはよくある。関節手術の経験が豊富な整形外科医が語る。

「例えば、リウマチの手術です。術後に患者さんから、思っていたより痛みが残る、新しい痛みが出たと言われることが多い。正直、手術をしても上手くいくかどうか、結果を見ないとわからないのです。削った骨が別の神経を圧迫して、手術前は問題がなかつたところに痺れが出ることもある」

手術のために、人生の楽しみを奪われることもある。とりわけ前立腺肥大症の手術は失うものが残り、結局、車椅子での生活を余儀なくされました」(伊藤加奈子さん／仮名・77歳)

膝関節症には、手術をしない保存療法もあるので、ある程度様子を見てから手術に踏み切つたほうがいい。手術後、45年ほど経つと、生体と人工関節の間に緩みが生じて、痛みや痺れが再発、ひどい場合はもう一度手術を受けなければならなくなるからだ。

「まだ感じます」(中西章雄さん／65歳・仮名)

手術は、常ににかを失うことのリスクと隣り合わせだ。そして、失つたものは、二度と元には戻らない。メリットとデメリットを天秤にかけた上で、受けれるようにした。例えば、白内障の手術。見えにくいからといて、安易にメスを入れると完全に光を奪われる可能性だつてある。

「目の中のレンズの役割

和感が残るといった後遺症を訴える人がいます。最悪、手術が失敗して失明するリスクだつてあります」(大学病院眼科医)

年齢と共に、人の身体にはガタがくるもの。現代の医療であれば、どんな症状だつて改善することができるという発想が

そもそも間違いなのだ。手術と薬の副作用はまだある。186ページからの後編も合わせて読んでほしい。

## 「飲ませたがる」「医者、 やりたがる」「医者とは 読者から次々と寄せられる疑問に答えます

# 「飲ませたがる」「医者、 やりたがる」「医者とは どう戦いなさい

### 患者を怒鳴りつける医者も

「その患者さんは、私のところに週刊現代を持つて、自分の飲んでいる薬の副作用について書かれていた

医者も、問題ないでしょか」と相談に来ました。別にかかりつけの医者

がいるのですが、自分から薬をやめたいと言出しつづいて、記事の中でコメントをしている私のいる病院を訪ねたそうです」

こう語るのはナビタスクリニックの医師、佐藤智彦氏。佐藤氏は問診をして、副作用のリスクと薬をやめることのリスクについて患者と話し合つ

たという。一見、当たり前のことのようだが、こんな程度の対話を拒否する医者がなかにはいるので、困りものだ。佐藤

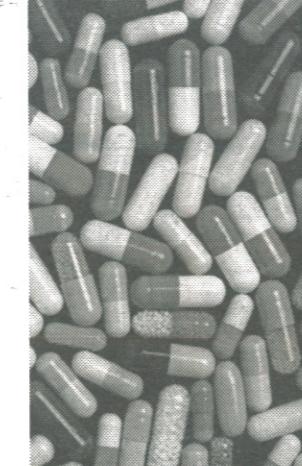
頑固で偉そうな医者に自分から意見するのは気後れすると感じる人もいるだろう。だが、医者に相談せず勝手に薬をやめてしまうのは危ない。病状によつては命取りになる場合もある。長尾クリニック院長の長尾和宏氏

資格に加えて、疑義照会といつて医者の処方の間違いや処方の組み合わせの悪さなどを指摘し、医者に指導できます。そういうことができる薬剤師をかかりつけにして、アドバイスを求めるところが心強い」（前出の児玉氏）

情報がたくさんあるほど、医者は正確な診断を下せますし、治療方法もより安全なものを選べます。そういう意味で、気が合わないからといって次から次へと医者を代えてゆく『ドクター・ショッピング』をしてしまうと、

パターンだ。例えば、整形外科が病院運営の母体になつてゐるような病院などと、どうしても無駄な関節の手術などが行われがちになる。東京の民間病院の経営幹部が語る。「都市部の病院は経営が火の車のところも多い。

の事情」による事故だ。症例を増やしたいがために、技術力のない医者が難しい手術をくり返し、犠牲者を出していったのだ。向こう見ずな医者は恭に溢れている。自分の身体と命を守るために、医者を見極める力を持ちたい。



それでもダメという場  
と患者は対等な立場にあ  
るべきなんです。  
『ぱいになってしまいま  
す。せめて何錠か減らせ  
ませんか』とやんわりと  
伝えてみる。本来、医者

れる制度も始まりましたし、協力してくれる病院も増えてきています。ただし、やめる優先順位はかかりつけ医とよく相談して決めるのです」

ただ、現実には患者が死ぬ間際まで投薬するの

は体へのダメージを考え、て温存したほうがいいの

がいい」（前出の佐藤氏）

患者が医者を見極める

A black and white photograph showing a large number of white and grey capsules, likely medicine, scattered haphazardly on a dark, textured background.

結局、いかに医者と対等に向き合えるかが、無駄な医療の犠牲者にならずに済むかどうかのカギになる。

か、複数の選択肢を示してくれないような医者は失格です。それぞれの治療法のメリットとリスクを開示したうえで、患者さんに選択してもらうのが筋。自分のやりたい手

本来あつてはならないことですが、経営上、点数の稼げる手術や治療を優先して、患者の身体は二の次になるような例も見受けられます。本当は開腹で手術をした方がいい

「同じく、本誌の手術特集を病院に持参して医師に相談したという女性(67歳)が語る。

「外反母趾で悩んでいたのですが、記事を読んで自分のような症状であればまだ我慢できる。手術を避けて、温存的な療法にしてほしいと医者に相談しました。すると『このあいだは、手術をしたいと言つたじやないか』と怒り出して、私の持つて行つた雑誌を叩きつけたのです」

これが似たような光景が、日本全国の病院でくり広げられている。本誌

いと伝えたのに、医者に無視された。どうすればうまく伝えられるか」という患者の嘆きが数多く

刊現代を読んだ患者が、勝手に薬をやめようとして困る」と不満を持つ医者もいるという。

医者としてもいい気はない。医者は医者なりに患者のことを考えて処方をしているのです。

れているが、玉石混交なので、すべてを鵜呑みにしては混乱を招くだけ。まずは、薬の添付書に書かれてる副作用をチエツクして、思い当たる症状がないか確認することが重要だ。「薬やめる科」を開設している松田医院院長の松田史彦氏が語る。「医者も多忙なので、患者に副作用が起きていることに気が付かないこともあります。自分で副作用があると感じたら、はつきりと医者に伝えましょう。

面と向かっては、なかなか医者に意見しにくい

## 薬剤師を味方につける

日本をはじめ、アメリカ・中国の州、国立大学でも研究用に採用された  
**高品質 飛騨靈芝**  
よいものだからこそ長く愛飲してほしい、そう考えたから、この価格が実現しました  
三十年以上にわたる科学的研究、栽培実績の成果を結集したのが「飛騨靈芝」  
その品質は国内・海外で高く評価され、研究用靈芝として採用されています  
だから長期愛飲者にこそ、自信を持つてお勧めします

■ インターネット(24時間受付)  
<http://www.dai1-yakusan.co.jp/>  
飛騨靈芝 第一薬産 検索  
■ お電話  
0120-32-0963  
※姿、さざみ、粉末等ご要望に応じます。  
※開封前、着後7日間は返品可(返送料申込者負担)  
**第一薬産株式会社**  
〒506-0003 岐阜県高山市本母町59